

消化器内科

石田 永

消化器内科・肝臓内科は、①肝炎・肝癌診療、②内視鏡治療、③消化器癌に対する化学療法を診療の3つの柱にしています。論文発表や学会発表も、この3つの柱を中心に活動しています。

C型肝炎およびB型肝炎に対する抗ウイルス療法ですが、その診療患者数が日本でも常にトップクラスにランクされ、国内のみならず海外の学会・学術誌に情報発信しています。C型肝炎治療はインターフェロンフリーの時代に入り、高いウイルス排除率が期待されていますが、心機能への影響や腎機能低下例での選択が課題になっており、この点を検討しています。当科のB型肝炎に対する抗ウイルス剤（特に核酸アナログ）治療も国内で高い評価を受けている領域です。核酸アナログの治療成績は、国立病院機構ネットワーク共同研究の主任研究者としてとりまとめています。

内視鏡治療では、早期胃癌に対する粘膜下層剥離術（ESD）に力を入れ、診療レベルの向上をはかってきました。そして適応拡大病変の検討や安全性の評価を発表しています。特に抗凝固剤、抗血小板薬が投与されている症例の検討を国内外に発信しています。

消化器癌に対する化学療法は今や最も活発に論文発表や学会発表を行っている領域です。特に胆道系悪性腫瘍、膵臓癌は増加傾向にあり、今後も先進医療を行っていきます。また、新規薬剤の開発に伴い胃癌・大腸癌の化学療法も日々進歩しており、エビデンスに基づいた診療を行うとともに、その成績の検討に取り組んでいます。

上記の他にも、臨床的に稀な症例や貴重な経験症例の報告をしています。特に症例報告は専修医・研修医の初めての学会発表の場として、消化器内科をあげて指導に力を入れています。今後も、診療・教育とともに臨床研究の成果を国内外に発信していきたいと思えます。

【2016年度 研究発表業績】

A-0

Hasegawa H, Taniguchi H, Mitani S, Masuishi T, Komori A, Narita Y, Kadowaki S, Ura T, Ando M, Yatabe Y, Muro K : Efficacy of Second-Line Bevacizumab-Containing Chemotherapy for Patients with Metastatic Colorectal Cancer following First-Line Treatment with an Anti-Epidermal Growth Factor Receptor Antibody. 「Oncology」 2017年2月

Yoshio T, Tomida H, Iwasaki R, Horiuchi Y, Omae M, Ishiyama A, Hirasawa T, Yamamoto Y, Tsuchida T, Fujisaki J, Yamada T, Mita E, Ninomiya T, Michitaka K, Igarashi M : Effect of direct oral anticoagulants on the risk of delayed bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection. 「Dig Endosc.」 2017年3月

Morishita N, Hiramatsu N, Oze T, Urabe A, Tahata Y, Yamada R, Yakushijin T, Hosui A, Iio S, Yamada A, Hagiwara H, Mita E, Yamada Y, Ito T, Inada M, Katayama K, Yabuuchi I, Imai Y, Hikita H, Sakamori R, Yoshida Y, Tatsumi T, Hayashi N, Takehara T : Ultra-deep sequencing analysis of resistance-associated variants during retreatment with simeprevir-based triple therapy after failure of telaprevir-based triple

therapy in patients with genotype 1 hepatitis C virus infection. 「Hepatol Res.」 2016年9月

Nishida N, Ohashi J, Khor SS, Sugiyama M, Tsuchiura T, Sawai H, Hino K, Honda M, Kaneko S, Yatsuhashi H, Yokosuka O, Koike K, Kurosaki M, Izumi N, Korenaga M, Kang JH, Tanaka E, Taketomi A, Eguchi Y, Sakamoto N, Yamamoto K, Tamori A, Sakaida I, Hige S, Itoh Y, Mochida S, Mita E, Takikawa Y, Ide T, Hiasa Y, Kojima H, Yamamoto K, Nakamura M, Saji H, Sasazuki T, Kanto T, Tokunaga K, Mizokami M. : Understanding of HLA-conferred susceptibility to chronic hepatitis B infection requires HLA genotyping-based association analysis. 「Sci Rep.」 2016年4月19日

A-2

三田英治: HIV 重複感染例「最新・C型肝炎経口薬治療マニュアル(伊藤義人、中島淳 監修)」、P. 58-59、診断と治療社、2016年4月

A-3

木村圭一、岩崎哲也、山田拓哉、岩崎竜一朗、榊原祐子、中水流正一、石田 永、山口真二郎、尾下正秀、三田英治 : イレウス管併用ダブルバルーン小腸内視鏡により治療した食餌性イレウスの1例 「Gastroenterological Endoscopy」 58(9) : P1420-1425、2016年9月20日

A-4

中水流正一、福富啓祐、三田英治、笠原彰紀 : 吐血 (総説) 「日本病院総合診療医学会雑誌」 11(2) : P.69-71、2016年12月

石田 永、三田英治 : HIV/HBV 重複感染例における治療上の留意点 「化学療法の領域」 32(5) : P.57-65、医薬ジャーナル社、2016年5月

三田英治 : HIV 重複感染 C型肝炎の治療 「臨床消化器内科」 31(11) : P. 1511-1515、日本メディカルセンター、2016年10月

B-2

Nakazuru S, Nakamori S, Kato S, Shoji A, Kiyota R, Shinkai K, Tashiro T, Nakagawa K, Ishida H, Mita E : Optimal indications for chemotherapy in elderly patients with unresectable pancreatic cancer. 2017 Gastrointestinal Cancers Symposium, San Francisco, USA, 2017年1月20日

Nakagawa K, Yamada T, Kato S, Shoji A, Kiyota R, Shinkai K, Tashiro T, Iwasaki T, Ishihara A, Nishio K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Nakazuru S, Ishida H, Mita E : Clinical features of esophageal ulcers in HIV-positive patients. UEG week 2016, Vienna, Austria, 2016年10月19日

Nakagawa K, Yamada T, Kato S, Shoji A, Kiyota R, Shinkai K, Tashiro T, Iwasaki T, Ishihara A, Nishio K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Nakazuru S, Ishida H, Mita E : Clinical features of esophageal ulcers in HIV-positive patients. APDW 2016, Kobe, Japan, 2016年11月5日

Tashiro T, Ishida H, Shoji A, Kato S, Shinkai K, Kiyota R, Nakagawa K, Ishihara A, Iwasaki T, Hasegawa H, Nishio K, Yamada T, Sakakibara Y, Nakazuru S, Kiso S, Mita E : Changes of Left Ventricular Ejection

Fractions during Sofosbuvir-based Anti-HCV therapy. ACG 2016, Nevada, America, 2016年10月16日

B-3

三田英治、石原朗雄、石田 永：当院におけるB型急性肝炎の現況—特にHIVとの重複感染例の特徴—。第41回日本肝臓学会東部会、東京、2016年12月8日

榊原祐子、山田拓哉、三田英治：HIV感染症にみられる感染性腸炎。第91回日本消化器内視鏡学会総会、東京、2016年5月14日

B-4

卜部彩子、平松直樹、小瀬嗣子、田畑優貴、森下直紀、山田涼子、薬師神崇行、三田英治、萩原秀紀、山田幸則、伊藤敏文、肱岡泰三、稲田正巳、片山和宏、田村信司、今井康陽、竹原徹郎：ヘモグロビン低値のC型慢性肝炎に対するシメプレビル/ペグインターフェロン/リバビリン併用療法におけるリバビリン減量投与の治療効果について—多施設共同研究—。第102回日本消化器病学会総会、東京、2016年4月23日

森下直紀、平松直樹、小瀬嗣子、卜部彩子、田畑優貴、山田涼子、薬師神崇行、法水 淳、飯尾禎元、三田英治、田村信司、今井康陽、疋田隼人、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法における薬剤耐性変異が及ぼす治療効果への影響について。第20回日本肝臓学会大会、神戸、2016年11月3-4日

瀧川貴生、阪森亮太郎、巽 智秀、薬師神崇行、氣賀澤齊史、古田訓丸、糸瀬一陽、萩原秀紀、法水 淳、吉原治正、内藤雅文、伊藤敏文、今井康陽、西尾公美子、三田英治、大川和良、片山和宏、平松直樹、竹原徹郎：腫瘍系2cm以下・乏血性の初発肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の再発、予後に寄与する因子の多施設共同研究。第20回日本肝臓学会大会、神戸、2016年11月3-4日

卜部彩子、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、山田涼子、森下直紀、田畑優貴、法水 淳、宮城琢也、金子 晃、萩原秀紀、三田英治、山田幸則、伊藤敏文、今井康陽、疋田隼人、阪森亮太郎、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：Genotype 2型C型慢性肝疾患のspecial populationに対するSofosbuvir/Ribavirin併用療法の有効性—多施設共同研究—。第20回日本肝臓学会大会、神戸、2016年11月3-4日

瀧川貴生、阪森亮太郎、巽 智秀、薬師神崇行、平松直樹、糸瀬一陽、萩原秀紀、法水 淳、吉原治正、松本健吾、内藤雅文、伊藤敏文、大川和良、片山和宏、今井康陽、西尾久美子、石田 永、三田英治、竹原徹郎：経皮的ラジオ波焼灼療法を施行した初発肝細胞癌の予後、再発に寄与する因子—多施設共同研究。第52回日本肝臓学会総会、千葉、2016年5月19日

中水流正一、石原朗雄、岩崎哲也、長谷川裕子、西尾公美子、山田拓哉、榊原祐子、石田 永、前田 栄、濱 直樹、宮本敦史、中森正二、三田英治：化学療法施行高齢肝癌症例における予後因子の検討。第54回日本癌治療学会学術集会、横浜、2016年10月20日

清田良介、岩崎哲也、山田拓哉、新海数馬、田代 拓、中川健太郎、福富啓祐、石原朗雄、

岩崎竜一郎、西尾公美子、榊原祐子、中水流正一、石田 永、三田英治：当院の憩室出血症例における抗血栓薬の影響。第 91 回日本消化器内視鏡学会総会、東京、2016 年 5 月 13 日

田代 拓、石原朗雄、加藤聖也、庄司綾香、清田良介、新海数馬、中川健太郎、岩崎哲也、長谷川裕子、西尾公美子、山田拓哉、榊原祐子、中水流正一、石田 永、三田英治：高齢者に発症した三重癌に対して集学的治療を施行した一例。第 52 回日本肝癌研究会、東京、2016 年 7 月 2 日

榊原祐子、山田拓哉、田代 拓、新海数馬、清田良介、中川健太郎、福富啓祐、岩崎哲也、岩崎竜一郎、石原朗雄、西尾公美子、中水流正一、石田 永、三田英治：当院でインフリキシマブを導入した難治性潰瘍性大腸炎の治療経過の検討。第 102 回日本消化器病学会総会、東京、2016 年 4 月 15 日

清田良介、榊原祐子、加藤聖也、庄司絢香、新海数馬、田代 拓、中川健太郎、石原朗雄、岩崎哲也、西尾公美子、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、三田英治：当院における胃 MALT リンパ腫の内視鏡診断と治療。第 58 回日本消化器病学会大会、神戸、2016 年 11 月 4 日

加藤聖也、庄司絢香、清田良介、新海数馬、田代 拓、中川健太郎、石原朗雄、岩崎哲也、西尾公美子、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、三田英治：C 型慢性肝疾患に対するソホスビル/レジパスビル併用療法における左室駆出率に対する検討。第 70 回国立病院総合医学会、沖縄県宜野湾市、2016 年 11 月 12 日

B-5

石原朗雄、石田 永、西尾公美子、三田英治：肝細胞癌に対する初回 RFA 後の肝内異所性再発に寄与する因子の検討。日本消化器病学会近畿支部第 105 回例会、大阪、2016 年 9 月 17 日

岩崎哲也、山田拓哉、中水流正一、三田英治：当院における DB-ERCP の治療成績。第 105 回日本消化器病学会近畿支部例会、大阪、2016 年 9 月 17 日

B-6

岩崎哲也、山田拓哉、清田良介、新海数馬、田代 拓、中川健太郎、福富啓祐、石原朗雄、岩崎竜一郎、西尾公美子、榊原祐子、中水流正一、石田 永、三田英治：当院における DB-ERCP の治療成績。第 96 回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会、京都、2016 年 6 月 11 日

東 瀬菜、清田良介、石田 永、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、佐木山裕史、山本司郎、橋川一雄、三田英治：C 型肝硬変の経過観察中に発症した弧発性クロイツフェルト・ヤコブ病の一例。第 213 回日本内科学会近畿地方会、大阪、2016 年 9 月 24 日

庄司絢香、榊原祐子、中川健太郎、加藤聖也、田代 拓、新海数馬、清田良介、岩崎哲也、石原朗雄、西尾公美子、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、三田英治：右側結腸に狭窄型虚血性腸炎を発症した 1 例。第 105 回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪、2016 年 9 月 17 日

河本泰治、榊原祐子、庄司絢香、加藤聖也、田代 拓、新海数馬、清田良介、中川健太郎、岩崎哲也、石原朗雄、西尾公美子、長谷川裕子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、三田英治：十二指腸癌を合併したクローン病の2例。第106回日本消化器病学会近畿支部例会、大阪、2017年2月25日

田代 拓、石原朗雄、加藤聖也、庄司絢香、新海数馬、清田良介、中川健太郎、岩崎哲也、長谷川裕子、西尾公美子、山田拓哉、榊原祐子、中水流正一、石田 永、三田英治：C型慢性肝炎の経過観察目的に当院紹介となった一例。第1回 Osaka Resident Forum、大阪、2016年6月11日

手代木紳、田代 拓、石原朗雄、岩崎哲也、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、三田英治：三重複癌に対して集学的治療を施行した一例。第215回日本内科学会近畿地方会、兵庫、2017年3月25日

B-8

榊原祐子：炎症性腸疾患の病態と最新治療。法円坂 GIカンファレンス、大阪、2017年3月23日

中水流正一：生活習慣と腸疾患。第57回大阪健康セミナー、大阪、2017年1月28日

長谷川裕子：感染性腸炎－日常生活での注意点－。第57回大阪健康セミナー、大阪、2017年1月28日

山田拓哉：ピロリ菌と胃癌。第57回大阪健康セミナー、大阪、2017年1月28日

岩崎哲也：大腸ポリープと大腸癌。第57回大阪健康セミナー、大阪、2017年1月28日

石原朗雄：肥満と脂肪肝。第57回大阪健康セミナー、大阪、2017年1月28日

石原朗雄：当院における肝細胞癌治療の現状。第6回法円坂消化器フォーラム、大阪、2017年2月18日

石田 永：ウイルス性肝炎治療の最前線。第6回法円坂消化器フォーラム、大阪、2017年2月18日

石田 永：症例から学ぶムルプレタ錠の上手な使い方。ムルプレタセミナー、大阪、2017年3月15日

三田英治：大阪医療センターにおけるムルプレタ®の使用経験。大阪ムルプレタ®錠発売記念講演会、大阪、2016年9月3日

三田英治：C型肝炎の最新の潮流。大阪市中央区東医師会学術講習会、大阪、2016年9月28日